

## オープン市場短信 (2019年6月)

2019.6.10

### ◆ 5月のCP市場動向

5月末のCP市場残高は20兆2,476億円と、前月比+2,335億円増加した。発行増の牽引役は一般事業法人で、月末近辺に法人税の支払いや賞与等の資金需要から、多くの発行があった。業態別残高では、一般事業法人が7兆9,781億円（前月比+7,276億円）と増加した。一方、その他金融が9兆7,333億円（同△2,150億円）、金融機関は1兆4,235億円（同△1,072億円）、ABC Pは1兆1,127億円（同△1,719億円）と減少した。発行レートは、投資家が0%以上であれば引き続き強い運用姿勢であること、また、発行の少ない銘柄についてはマイナス札での引受が散見され、マイナス~0%近辺の出会いであった。

#### 【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	5月末残高	4月末残高	増 減
一般事業法人	79,781	72,505	7,276
その他金融	97,333	99,483	-2,150
金融機関	14,235	15,307	-1,072
政府系金融	0	0	0
銀行等	3,040	3,040	0
証 券	11,195	12,267	-1,072
ABC P	11,127	12,846	-1,719
計	202,476	200,141	2,335

(注：買入消却分含む)

#### 【格付け別の発行レート】

##### 5月のCPレートレンジ

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+ (一般事業法人)	— ~ —	0.0000% ~ —	△ ~ △
a-1 (一般事業法人)	△ ~ 0.0010%	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%
a-1+ (リース銘柄)	△ ~ 0.0000%	— ~ —	△ ~ —
a-1 (リース銘柄)	— ~ —	0.0012% ~ 0.0020%	△ ~ 0.0400%
a-2	-0.0013% ~ ケ0.15%	0.0850% ~ ケ0.15%	0.0040% ~ ケ0.15%

### «C P オペ»

C P等買入オペは、オファー額は月間で合計 4,500 億円と前月比横ばいであったが、オファー回数は大型連休の影響もあって 2 回に変更となった。オペ参加者の売却ニーズが強く、16 日のオペの按分落札レートは $\Delta 0.001\%$ と前月より上昇し、28 日のオペも横ばいとなった。

〈月末オペ残高：2 兆 1,970 億円〉

### 【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
5月16日	5月21日	2,500	7,187	2,470	-0.001%	0.004%	74.0%
5月28日	5月31日	2,000	6,677	1,985	-0.001%	0.001%	38.2%

### «A B C P»

A B C Pは、1兆1,127億円と前月比 $\Delta 1,719$ 億円減少し、前年同月比も434億円の減少であった。

### «短期社債登録状況»

証券保管振替機構によると、5 月末時点における発行登録企業数は、東海カーボンが新規登録を行い、1 社増の 525 社となった。

### «C P 現先市場»

現先 (S/N) レートは運用ニーズ強く、マイナス $\sim 0\%$ 近辺での出合いで 0%では引き続き買い残り状態となっていた。

## ◆ 6 月の C P 市場動向

6 月末の C P 発行残高は、一般事業法人の四半期末決算の残高調整により、前月末残 (20兆2,476億円) を下回ると思われる。月末残高は19兆円台後半に止まるものの、前年同月 (16兆2,262億円) 対比では、28ヶ月連続プラスとなるだろう。月初、発行が少なくやや閑散なマーケットとなっているが、前月同様、月末近辺には賞与や納税等の資金需要から発行増が見込まれる。

発行レートは、一般事業法人（a-1格付）の銘柄でマイナス～0%近辺、その他金融・リースの銘柄（同格付）でマイナス～0.04%台での出合いを予想する。

「CPオペ」

今月のオペのオファー額は、前月より3,000億円増額され合計7,500億円の予定となっている。4日にオファーされたオペは、按分レート△0.001%・平均落札レート0.001%と、ともに前回比横ばいとなった。次回以降のオペは、新規発行のペースが鈍化していることやディーラーの売却ニーズが弱く応札額が減少していることもあり、レートは弱含み地合いを予想する。

「CP現先市場」

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続き0%近辺での出合いを予想する。

参考資料 （出所：証券保管振替機構）

【5月末発行残高 上位10社】

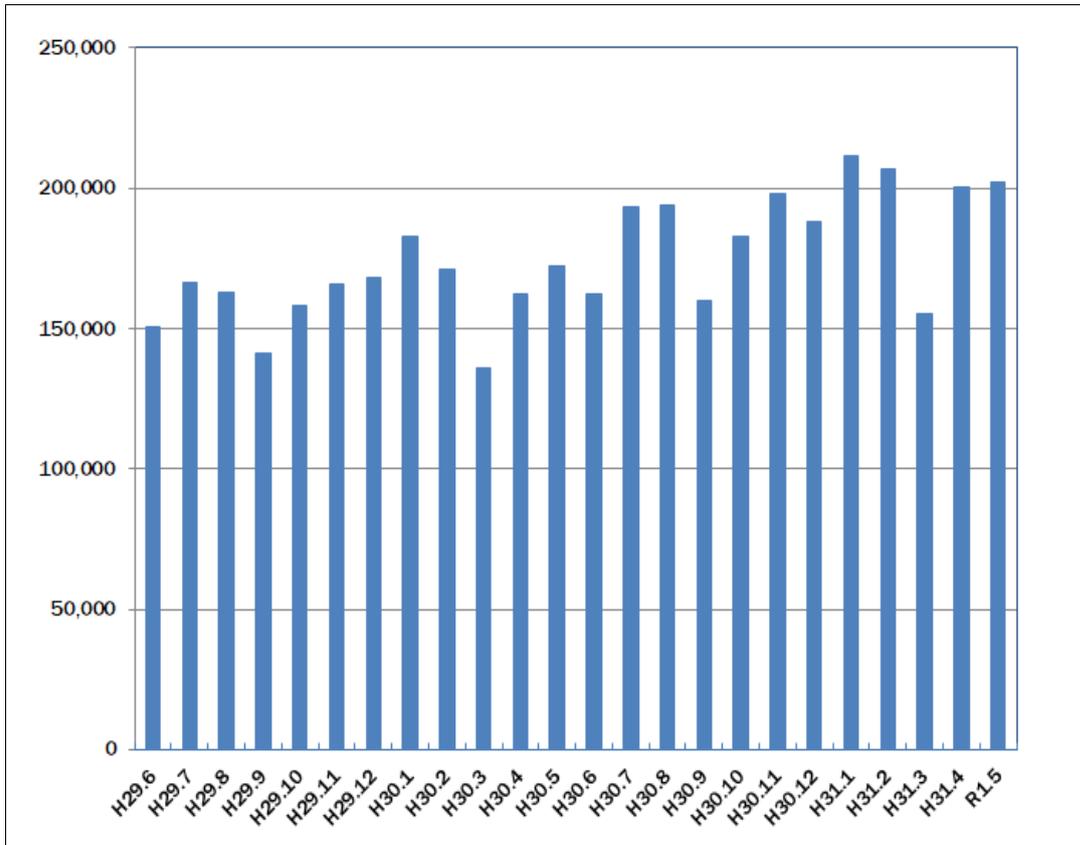
（単位：億円）

	発行企業名	5月末残高	4月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース	10,519	10,259
2	三菱商事	10,000	9,800
3	NTTファイナンス	8,070	6,910
4	三菱UFJリース	7,876	7,552
5	東京センチュリー	6,506	6,509
6	クレディセゾン	5,930	5,880
7	興銀リース	5,500	5,500
8	パナソニック	5,470	4,770
9	芙蓉総合リース	4,482	4,147
10	日本製鉄	4,320	3,830

## 【短期社債市場残高】

(2017年6月～2019年5月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会